



平成22年8月5日

平成22年12月期 中間決算概況

会社名 サントリーホールディングス株式会社
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐治 信忠
 問合せ先責任者 (役職名)広報部長 (氏名)濱岡 智

URL <http://www.suntory.co.jp>

広報部 TEL (03)5579-1150
 TEL (06)6346-0835

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月中間期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月中間期	812,967	11.2	41,071	47.9	37,867	35.5
21年6月中間期	731,002	1.0	27,764	△ 10.2	27,944	△ 8.3
21年12月期	1,550,719	—	83,544	—	81,822	—

	中間(当期)純利益		1株当たり中間(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
22年6月中間期	13,443	64.8	19	57	19	56
21年6月中間期	8,156	△ 28.1	11	87	11	87
21年12月期	32,666	—	47	54	47	54

(参考) 持分法投資損益 22年6月中間期 230百万円 21年6月中間期 △19百万円 21年12月期 224百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月中間期	1,536,119	420,650	25.8	575 77
21年6月中間期	1,242,260	429,152	32.5	588 10
21年12月期	1,628,280	455,638	26.3	623 96

(参考) 自己資本 22年6月中間期 395,630百万円 21年6月中間期 404,102百万円 21年12月期 428,747百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
22年6月中間期	41,550	2,887	△ 48,071	104,852
21年6月中間期	28,208	△ 146,156	82,719	120,093
21年12月期	102,738	△ 388,903	243,629	112,656

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	7 00	7 00

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,743,000	12.4	103,000	23.3	94,000	14.9	40,000	22.5	58	21

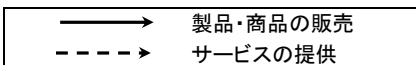
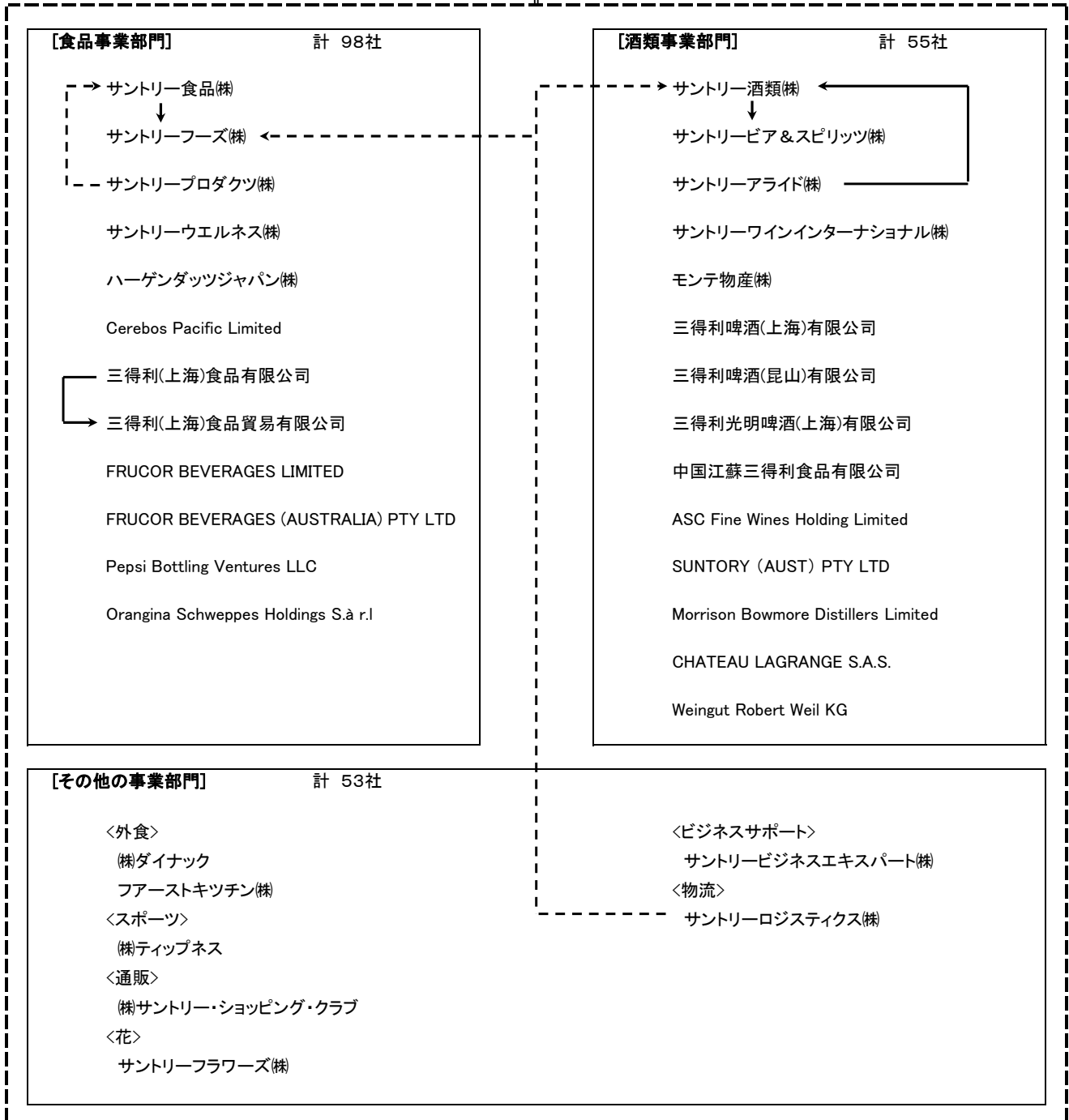
事業系統図

サントリーグループは、当社、子会社180社および関連会社26社より構成されています。主要な会社は次のとおりです。

※ 寿不動産㈱

サントリーホールディングス㈱(持株会社)

グループ全体の経営戦略の策定・推進、管理



- (注) 1. サントリービジネスエキスパート㈱は、機能会社として関係会社に間接業務サービスを提供しています。
 2. ※は親会社です。
 3. 無印は連結子会社です。

経営成績

1. 当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間のわが国の経済は、景気回復の兆しが一部見られるものの、雇用情勢の不安などから個人消費回復の足取りは緩やかで、依然先行き不透明な状況が続いています。国内外の清涼飲料・酒類市場においても、競合激化により厳しい環境となりました。

こうした状況の中、サントリーグループは、“グローバル総合酒類食品企業”を目指し、食品・酒類事業を核に、国内外で多岐にわたる事業を積極的に展開しました。

平成22年(2010年)6月期の業績は、主力商品である「BOSS」「ザ・プレミアム・モルツ」「金麦」「角瓶」などの好調により既存事業が伸長したことで、増収増益を果たしました。さらに、新規連結会社の業績が加わり、売上高は8,130億円(前年同期比111.2%)、営業利益は411億円(前年同期比147.9%)、経常利益は379億円(前年同期比135.5%)といずれも過去最高を更新しました。中間純利益は134億円(前年同期比164.8%)となりました。

〈食品事業〉

サントリー食品(株)は、清涼飲料総市場が前年同期比98%と推定される中、1億6,870万ケース(前年同期比101%)と前年を上回る販売となりました。

「BOSS」は、「レインボーマウンテンブレンド」「贅沢微糖」「無糖ブラック」「カフェオレ」の主要4商品に加え、「ゴールドプレzzo」「ドライ」などの新商品がご好評をいただき、前年同期比106%と好調に推移しました。「PEPSI」の主力商品「ペプシネックス」は、3月に中味・パッケージをリニューアルし、“ゼロカロリーでおいしいコーラ”としてお客様から引き続きご支持をいただき、前年同期比105%の販売となりました。果汁飲料では、2月にリニューアル発売した「なっちゃん」や、新たに販売を開始した「ニチレイ アセロラ」シリーズが寄与し、果汁飲料計で前年同期比142%と好調な販売となりました。また、ミネラルウォーターの新たな生産拠点として、最新の環境配慮型設備を導入した「サントリー天然水南アルプス(株) 白州工場」が4月に竣工しました。

サントリーウエルネス(株)は、主力の「セサミンEプラス」「DHA&EPA+セサミンE」「グルコサミン&コンドロイチン」などが順調に売上を伸ばしました。その結果、同社の売上は前年同期比104%と伸長しました。

ハーゲンダッツジャパン(株)は、ミニカップ「クッキー&グリーンティー」「クリームチーズラズベリー」などの新商品に加え、発売10年を迎え全面リニューアルしたクリスピーサンドが、お客様からご好評をいただきました。

海外では、フランス・スペインを中心に欧州で清涼飲料事業を展開する^{オレンジーナ シュウエップス}Orangina Schweppes Group が新たにサントリーグループに加わり、主力ブランド「オレンジーナ」を中心に好調な販売となりました。また、米国東海岸を中心に清涼飲料のボトラー事業を行う^{ペプシ ボトリング ベンチャーズ}Pepsi Bottling Ventures LLC、健康食品・加工食品を製造・販売する^{セレボス パシフィック}シンガポールのCerebos Pacific Limited や、^{フルコア}ニュージーランド・オーストラリアで清涼飲料を製造・販売するFruco Group が好調な売上となりました。

以上の結果、食品事業の売上高は、4,877億円(前年同期比119.3%)となりました。

〈酒類事業〉

サントリー酒類(株)は、国内外において引き続き付加価値の訴求やマーケティング活動を強化することで、新たな需要創出を図りました。

ビール事業は、総市場が前年同期比4%減となる中、2,743万ケース^{※1}(前年同期比101.8%)の販売数量に達し、上半期のシェアは過去最高の13.4%(課税数量ベース)となりました。味わいに高い評価をいただいている「ザ・プレミアム・モルツ」は、品質訴求をはじめマーケティング活動をさらに強化し、605万ケース(前年同期比112.0%)と大変好調に推移しました。また、新ジャンル商品「金麦」も、970万ケース(前年同期比132.9%)と大幅な伸長を果たしました。

※1 ノンアルコールビールテイスト飲料含む

スピリッツ事業は、ウイスキー・RTD が好調に推移し、前年同期比106%となりました。

ウイスキーは、総市場が前年同期比約2割増と推定される中、「角瓶」「山崎」「白州」「響」などが好調で前年同期比126%となりました。「角瓶」は、ソーダで割った“角ハイボール”という飲み方が人気となり、これまでウイスキーに馴染みの無かった多くのユーザーを獲得した結果、前年同期比168%とウイスキー市場を牽引しました。

また、「角ハイボール缶」は、「角瓶」ならではの味わいを気軽に楽しめる商品としてご好評いただきました。「山崎」「白州」は、多彩な魅力を訴求する限定商品や、香味の個性が異なるシングルモルトウイスキーならではの“モルトハイボール”を訴求した結果、取り扱い飲食店が広がり、それぞれ前年同期比115%、125%と伸長しました。「山崎」は欧州でも好評を博し、海外での販売数量も前年同期比約4割増となりました。「響12年」が好調な「響」も前年同期比132%となりました。

輸入ウイスキーは、「ザ・マッカラン」「ボウモア」などのシングルモルトウイスキーが好調でした。

また、英国の酒類コンペティションにおいて、業界で著しい貢献を果たしたメーカーに与えられる「Whisky Distiller of the Year」を日本企業として初めて受賞しました。

RTDは、低アルコール飲料総市場が前年同期比106%と推定される中、前年同期比117%と市場を牽引しました。「-196°C」は、「-196°C ストロングゼロ」が好調でブランド計で前年同期比106%と伸長しました。1月にリニューアルし、1缶(350ml)当たり77kcalを実現したチューハイ「カロリー。」は、前年同期比106%となりました。「ほろよい」は、3月発売の〈白いサワー〉が寄与し、年間販売計画を400万ケースに上方修正するなど、大きく伸長しました。

リキュールは、カクテルのご家庭での需要喚起のため、消費者キャンペーンや体験型カクテル講座を実施し好調に推移しました。特に梅酒は、紙パック商品「梅酒にしませんか。」が好調で前年同期比109%となりました。

海外では、欧州を中心にシングルモルトウイスキー「ボウモア」が好調のMorrison Bowmore Distillers Limited が販売を拡大しました。中国でのビール事業は、「純生」などのブランドが伸長する一方、マーケティング活動の効率化を図るなど経営基盤の強化を推進しました。

サントリーワインインターナショナル(株)のワイン事業の販売数量は、総市場が前年同期並と推定される中、前年同期比112%と総市場を大きく上回りました。

国産ワインは、ご家庭で手軽に楽しめるワインとして「酸化防止剤無添加のおいしいワイン。」「デリカメゾン デリシヤス」などが好調で、前年同期比133%と大きく伸長しました。4月には「登美の丘ワイナリー 樽醗酵 甲州 2008」がフランスの国際ワインコンクール「Challenge International du Vin」において銀賞を受賞するなど、国産ぶどう100%ワイン“日本ワイン”の品質の高さが評価されました。輸入ワインは、高品質でお手ごろ価格のテーブルワイン「ビニャ マイポ」「カルロ・ロッシ」や、「デリカスパークリング」ブランドが好調に推移しました。

以上の結果、酒類事業の売上高は、2,609億円(前年同期比102.6%)となりました。

〈その他の事業〉

外食事業は、総市場が前年同期比99%と推定される中、ファーストキッチン(株)、(株)プロントコーポレーション、井筒まい泉(株)が順調な販売となりました。フィットネス事業を展開する(株)ティップネスは堅調に推移しました。環境緑化事業を展開するサントリーミドリエ(株)は、壁面緑化システムが高く評価され大きく伸長しました。

以上の結果、その他の事業の売上高は、644億円(前年同期比94.9%)となりました。

なお、国内売上高は6,391億円(前年同期比101.1%)、海外売上高は1,739億円(前年同期比176.3%)となりました。

当社は、創業以来、積極的に事業を展開するとともに、創業の精神である『利益三分主義』に基づき、文化・社会貢献、環境活動などにも取り組んできました。『水と生きる SUNTORY』というコーポレートメッセージのもと、社会と自然との共生を目指したさまざまな活動を展開しました。

水源涵養活動においては、引き続き強化を図り、6月末現在、サントリー「天然水の森」は約3,100haにまで拡大しました。また、容器包装の新開発をはじめ、生産、物流、販売活動においてもCO₂排出量の削減を推進するとともに、次代を担う子どもたちを対象に、環境に関する学習支援活動も続けました。

2.通期の見通し

今後も景気の先行きに対して不透明な状況が続くと見られる中、国内外の清涼飲料・酒類市場における競合は一層激化するものと予測されます。当社は今後も経営革新を進め、市場環境の変化に迅速に対応するとともに、お客様の目線に立った活動や商品開発を推進し、“グローバル総合酒類食品企業”として国内はもとより海外でのさらなる成長を目指します。

サントリー食品(株)は、さらなる売上の拡大と収益力の強化を目指します。清涼飲料では、「ウーロン茶」「BOSS」「伊右衛門」「天然水」「PEPSI」「DAKARA」といった基幹ブランドの育成・強化のほか、新商品の積極的なマーケティング活動を展開します。

海外においては、Orangina Schweppes Group、Pepsi Bottling Ventures LLC、Cerebos Pacific Limited、Fruco Group を中心に食品事業のさらなる拡大を図ります。

サントリー酒類(株)は、市場環境の変化に対応すべく、既存商品の育成・強化に加え、新しい価値提案にも積極的に取り組みます。

ビール事業は、好調な「ザ・プレミアム・モルツ」「金麦」を柱に、引き続き事業基盤の強化を図ります。さらに、“アルコール・カロリー・糖質の3つのゼロ”を実現したノンアルコールビールテイスト飲料「オールフリー」を8月に新発売し、新たな需要を喚起していきます。

スピリッツ事業は、引き続きお酒のさまざまな価値提案による需要拡大を目指します。

ウイスキーは、「角瓶」「角ハイボール缶」に加え、今秋発売の「トリス<エクストラ>」「トリスハイボール缶」による新たなハイボール市場の開拓と拡大を図ります。ハイボールをきっかけにウイスキーに興味を持ったお客様に、「山崎」「白州」「響」や輸入ウイスキーなど、幅広いウイスキーの個性や魅力、楽しみ方を提案していきます。

RTDは、機能系2大ブランドである「-196℃」糖類ゼロシリーズと「カロリー。」とともに、「ほろよい」のブランド力強化を推進します。

梅酒は、幅広い飲用シーンに対応すべく、新商品の投入や積極的なマーケティング活動により、お客様とのさらなる接点拡大を目指します。

海外では、ウイスキーやリキュールなどを中心に、引き続きサントリーグループトータルでのグローバルなブランド展開を図ります。

サントリーワインインターナショナル(株)は、新ブランド「ジャパンプレミアムシリーズ」「登美の丘ワイナリーシリーズ」を投入し、国産ぶどう100%ワイン“日本ワイン”の市場拡大を目指します。また、季節や旬に応じた飲用シーンの提案や新商品投入等により、ワインの多彩な魅力を訴求し、お客様接点をさらに拡大していきます。

これらの活動により、事業セグメント別の売上高は、食品事業10,483億円(前年同期比121.7%)、酒類事業5,649億円(前年同期比101.3%)、その他の事業1,298億円(前年同期比98.4%)を予定しています。

以上を総合して、平成22年(2010年)12月期の売上高は、17,430億円(前期比112.4%)、営業利益1,030億円(前期比123.3%)、経常利益940億円(前期比114.9%)、当期純利益400億円(前期比122.5%)を予定しています。

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成21年12月31日現在)		当中間連結会計期間末 (平成22年6月30日現在)		増 減	前中間連結会計期間末 (平成21年6月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%			%
I 流動資産	585,581	36.0	570,561	37.1	△15,020	584,690	47.1
現金及び預金	142,725		92,860		△49,864	121,631	
受取手形及び売掛金	220,614		225,097		4,483	198,045	
有 価 証 券	580		12,606		12,025	28,628	
た な 卸 資 産	161,742		172,345		10,603	177,942	
そ の 他	61,869		68,754		6,884	59,243	
貸倒引当金	△1,950		△1,102		848	△802	
II 固定資産	1,041,691	64.0	964,698	62.8	△76,993	656,455	52.8
1. 有形固定資産	388,708		384,927		△3,780	354,888	
建物及び構築物	131,068		132,733		1,664	130,096	
機械装置及び運搬具	88,864		92,843		3,978	78,464	
工具、器具及び備品	52,219		55,743		3,524	49,238	
土 地	85,649		83,052		△2,596	82,326	
そ の 他	30,906		20,553		△10,352	14,763	
2. 無形固定資産	456,399		395,041		△61,357	110,142	
の れ ん	441,768		379,682		△62,085	97,201	
そ の 他	14,631		15,358		727	12,940	
3. 投資その他の資産	196,584		184,729		△11,855	191,424	
投資有価証券	99,899		93,563		△6,336	99,265	
そ の 他	100,897		95,877		△5,019	96,316	
貸倒引当金	△4,212		△4,711		△498	△4,157	
III 繰延資産	1,006	0.0	859	0.1	△147	1,114	0.1
資 産 合 計	1,628,280	100.0	1,536,119	100.0	△92,160	1,242,260	100.0

(注)

有形固定資産に対する 減価償却累計額	631,946	634,693	2,747	622,204
-----------------------	---------	---------	-------	---------

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成21年12月31日現在)		当中間連結会計期間末 (平成22年6月30日現在)		増 減	前中間連結会計期間末 (平成21年6月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(負 債 の 部)		%		%			%
I 流 動 負 債	554,750	34.1	538,206	35.0	△16,544	477,461	38.5
支払手形及び買掛金	127,444		125,754		△1,690	121,217	
短 期 借 入 金	101,464		109,310		7,845	54,439	
1年内償還予定の社債	39,701		7,146		△32,555	48,120	
未 払 酒 税	40,820		27,017		△13,802	27,490	
未 払 消 費 税 等	10,156		5,158		△4,998	5,118	
未 払 法 人 税 等	23,220		13,015		△10,204	11,739	
未 払 金	93,135		94,025		889	76,171	
未 払 費 用	67,906		72,562		4,655	78,336	
賞 与 引 当 金	8,005		8,429		423	8,411	
そ の 他	42,894		75,786		32,891	46,416	
II 固 定 負 債	617,890	37.9	577,263	37.6	△40,627	335,645	27.0
社 債	178,327		176,255		△2,071	142,436	
長 期 借 入 金	326,572		294,008		△32,563	108,271	
退 職 給 付 引 当 金	10,192		10,405		212	9,813	
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	783		690		△92	762	
そ の 他	102,014		95,902		△6,112	74,361	
負 債 合 計	1,172,641	72.0	1,115,469	72.6	△57,172	813,107	65.5
(純 資 産 の 部)							
I 株 主 資 本	427,718	26.3	436,352	28.4	8,633	403,208	32.5
資 本 金	70,000		70,000		—	70,000	
利 益 剰 余 金	357,718		366,352		8,633	333,208	
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	1,028	0.1	△40,722	△2.6	△41,751	894	0.0
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	11,368		9,432		△1,935	13,216	
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△679		△1,038		△358	△1,068	
為 替 換 算 調 整 勘 定	△9,659		△49,116		△39,456	△11,253	
III 新 株 予 約 権	23	0.0	28	0.0	4	15	0.0
IV 少 数 株 主 持 分	26,867	1.6	24,991	1.6	△1,875	25,034	2.0
純 資 産 合 計	455,638	28.0	420,650	27.4	△34,988	429,152	34.5
負 債 純 資 産 合 計	1,628,280	100.0	1,536,119	100.0	△92,160	1,242,260	100.0

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増 減	前連結会計年度	
	〔 自 平成21年1月 1日 至 平成21年6月30日 〕		〔 自 平成22年1月 1日 至 平成22年6月30日 〕			〔 自 平成21年 1月 1日 至 平成21年12月31日 〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	金 額	百分比
I 売 上 高	731,002	100.0	812,967	100.0	81,965	1,550,719	100.0
II 売 上 原 価	378,813	51.8	409,147	50.3	30,333	807,418	52.1
売 上 総 利 益	352,188	48.2	403,820	49.7	51,632	743,301	47.9
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	324,424	44.4	362,749	44.6	38,325	659,757	42.5
営 業 利 益	27,764	3.8	41,071	5.1	13,307	83,544	5.4
IV 営 業 外 収 益	3,740	0.5	2,350	0.3	△1,390	6,262	0.4
受 取 利 息	819		516		△302	1,815	
受 取 配 当 金	925		1,087		161	1,488	
為 替 差 益	499		—		△499	591	
雑 収 入	1,496		745		△750	2,367	
V 営 業 外 費 用	3,560	0.5	5,554	0.7	1,993	7,983	0.5
支 払 利 息	2,825		4,606		1,780	6,139	
雑 支 出	735		947		212	1,844	
経 常 利 益	27,944	3.8	37,867	4.7	9,923	81,822	5.3
VI 特 別 利 益	637	0.1	1,560	0.2	923	1,634	0.1
固 定 資 産 売 却 益	343		246		△97	857	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	—		925		925	—	
関 係 会 社 株 式 売 却 益	107		—		△107	107	
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	117		—		△117	126	
そ の 他	69		389		319	543	
VII 特 別 損 失	5,943	0.8	5,124	0.7	△819	15,210	1.0
固 定 資 産 廃 棄 損	2,397		1,624		△772	4,283	
減 損 損 失	1,028		662		△366	5,100	
関 係 会 社 整 理 損	609		2,271		1,661	1,145	
組 織 再 編 関 連 費 用	1,310		—		△1,310	2,867	
そ の 他	597		566		△31	1,814	
税金等調整前中間(当期)純利益	22,638	3.1	34,304	4.2	11,666	68,246	4.4
法人税、住民税及び事業税	11,418	1.6	17,899	2.2	6,480	31,338	2.0
法人税等調整額	—	—	—	—	—	△1,680	△0.1
少数株主利益	3,063	0.4	2,960	0.3	△102	5,922	0.4
中間(当期)純利益	8,156	1.1	13,443	1.7	5,287	32,666	2.1

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	〔自平成21年1月1日〕 〔至平成21年6月30日〕	〔自平成22年1月1日〕 〔至平成22年6月30日〕	〔自平成21年1月1日〕 〔至平成21年12月31日〕
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前中間(当期)純利益	22,638	34,304	68,246
減価償却費	19,214	22,080	39,623
のれん償却額	2,708	11,044	5,847
受取利息及び受取配当金	△1,745	△1,604	△3,304
支払利息	2,825	4,606	6,139
減損損失	1,028	662	5,100
固定資産廃棄損	2,397	1,624	4,283
売上債権の増減額(△は増加)	10,501	△6,655	△2,875
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,355	△11,354	1,834
仕入債務の増減額(△は減少)	1,665	6,250	△4,260
未払酒税及び未払消費税等の増減額(△は減少)	△13,283	△18,528	3,868
その他	16,525	30,818	5,400
小計	49,120	73,248	129,902
利息及び配当金の受取額	2,107	1,711	3,662
利息の支払額	△2,883	△4,891	△5,557
法人税等の支払額	△20,137	△28,518	△25,269
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,208	41,550	102,738
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△30,018	△268	△30,050
定期預金の払戻による収入	—	30,065	—
有価証券の売却及び償還による収入	323	—	446
短期貸付金の増減額(△は増加)	307	△21	312
有形及び無形固定資産の取得による支出	△30,823	△26,631	△56,605
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,517	352	2,373
投資有価証券の取得による支出	△758	△74	△1,106
投資有価証券の売却及び償還による収入	884	2,205	1,170
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△86,337	△3,475	△302,303
その他	△1,253	736	△3,139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,156	2,887	△388,903
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△3,670	△5,309	55,515
長期借入れによる収入	7,422	8,366	234,277
長期借入金の返済による支出	△12,989	△9,563	△163,551
長期預け金の減少額	467	466	650
社債の発行による収入	99,590	—	146,437
社債の償還による支出	△925	△32,075	△20,290
リース債務の返済による支出	—	△848	△849
配当金の支払額	△4,122	△4,809	△4,122
少数株主への配当金の支払額	△2,875	△4,364	△4,431
その他	△178	66	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	82,719	△48,071	243,629
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,104	△4,170	△1,235
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36,334	△7,803	△43,771
VI 現金及び現金同等物の期首残高	156,181	112,656	156,181
VII 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	246	—	246
VIII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	120,093	104,852	112,656

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	食品	酒類	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	408,886	254,272	67,843	731,002	—	731,002
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	412	185	23,074	23,671	(23,671)	—
計	409,298	254,457	90,917	754,674	(23,671)	731,002
営業費用	375,062	250,682	89,046	714,791	(11,553)	703,237
営業利益	34,236	3,774	1,871	39,882	(12,117)	27,764

当中間連結会計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	食品	酒類	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	487,686	260,924	64,356	812,967	—	812,967
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	155	9	19,909	20,073	(20,073)	—
計	487,842	260,933	84,266	833,041	(20,073)	812,967
営業費用	444,416	252,563	81,496	778,476	(6,580)	771,896
営業利益	43,425	8,369	2,769	54,564	(13,492)	41,071

前連結会計年度(自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	食品	酒類	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	861,064	557,703	131,951	1,550,719	—	1,550,719
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	426	234	42,406	43,067	(43,067)	—
計	861,491	557,937	174,357	1,593,787	(43,067)	1,550,719
営業費用	777,271	537,864	170,087	1,485,223	(18,048)	1,467,175
営業利益	84,219	20,073	4,270	108,563	(25,018)	83,544

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質により区分しています。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品等
食品	清涼飲料、健康飲料、健康食品、加工食品 他
酒類	ビール類、洋酒、焼酎、RTD、ワイン 他
その他	外食、スポーツ、花苗 他

3. 営業費用のうち、「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用は、当社において発生するグループ管理費用で、金額は次のとおりです。

前中間連結会計期間	12,117 百万円
当中間連結会計期間	13,492 百万円
前連結会計年度	25,018 百万円

2. 所在地別セグメント情報

前中間連結会計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	国内	欧州	アジア・オセアニア	米州	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	632,411	5,791	59,512	33,287	731,002	—	731,002
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	571	1,245	638	166	2,622	(2,622)	—
計	632,983	7,036	60,150	33,453	733,624	(2,622)	731,002
営業費用	599,637	6,709	57,061	30,434	693,843	9,394	703,237
営業利益	33,346	327	3,088	3,019	39,781	(12,017)	27,764

当中間連結会計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	国内	欧州	アジア・オセアニア	米州	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	639,227	70,933	68,890	33,917	812,967	—	812,967
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	584	1,300	589	108	2,583	(2,583)	—
計	639,811	72,234	69,479	34,025	815,550	(2,583)	812,967
営業費用	598,605	66,940	64,511	30,976	761,033	10,862	771,896
営業利益	41,205	5,293	4,968	3,049	54,517	(13,445)	41,071

前連結会計年度(自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	国内	欧州	アジア・オセアニア	米州	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,337,183	11,390	131,875	70,270	1,550,719	—	1,550,719
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,284	2,425	1,170	331	5,212	(5,212)	—
計	1,338,468	13,816	133,045	70,601	1,555,932	(5,212)	1,550,719
営業費用	1,246,074	12,569	125,062	63,636	1,447,342	19,833	1,467,175
営業利益	92,394	1,247	7,982	6,965	108,589	(25,045)	83,544

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 欧州…ヨーロッパ諸国
 (2) アジア・オセアニア…東アジア、東南アジア及びオセアニア諸国
 (3) 米州…北米及び中南米諸国
 3. 営業費用のうち、「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用は、当社において発生するグループ管理費用で、金額は次のとおりです。
 前中間連結会計期間 12,117 百万円
 当中間連結会計期間 13,492 百万円
 前連結会計年度 25,018 百万円

3. 海外売上高

前中間連結会計期間(自平成21年1月1日 至平成21年6月30日) (単位:百万円)

	欧州	アジア・オセアニア	米州	計
I 海外売上高	5,802	59,582	33,289	98,674
II 連結売上高	731,002			
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	0.8%	8.1%	4.6%	13.5%

当中間連結会計期間(自平成22年1月1日 至平成22年6月30日) (単位:百万円)

	欧州	アジア・オセアニア	米州	計
I 海外売上高	71,063	68,932	33,921	173,917
II 連結売上高	812,967			
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	8.7%	8.5%	4.2%	21.4%

前連結会計年度(自平成21年1月1日 至平成21年12月31日) (単位:百万円)

	欧州	アジア・オセアニア	米州	計
I 海外売上高	11,437	132,009	70,273	213,721
II 連結売上高	1,550,719			
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	0.8%	8.5%	4.5%	13.8%

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州…ヨーロッパ諸国

(2) アジア・オセアニア…東アジア、東南アジア及びオセアニア諸国

(3) 米州…北米及び中南米諸国